

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 14010010

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会 計 区 分	3	国保病院事業会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事 業 優 先 度		A	
単位施策	5	地域医療体制維持の推進	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	医師確保対策事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担 当 課	14	国保病院・老健施設	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	地域医療体制の維持				#N/A	
事業目標	常勤医師3名		ハート／ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	有	国保病院運営委員会	関係例規・法令名	無		
住民協働			関係個別計画名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 25 年度 事 業 内 容	平成 26 年度 事 業 内 容	平成 27 年度 事 業 内 容	平成 28 年度 事 業 内 容	平成 29 年度 事 業 内 容
計 画 内 容	●医師確保対策 ・情報収集、面談旅費	・情報収集、面談旅費	・情報収集、面談旅費	・情報収集、面談旅費	・情報収集、面談旅費	・情報収集、面談旅費
計 画 事 業 費	事業費(千円)	2,560	500	515	515	515
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
実 績 事 業 費	事業費(千円)	4,361	4,361	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	1,000	1,000			
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	国保調整交付金	【評 価 ・ 実 績】	●民間医師紹介業者への求人 求人 ●非常勤医師紹介業者からの 仲介派遣			
			※前年度評価結果 B－継続／現状維持	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	常勤医師3名	常勤医師3名	常勤医師3名	常勤医師3名
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	872%	0%	0%	0%
		全体達成率	170%	170%	170%	170%
		事業進捗状況	☆☆☆☆			

事業名	医師確保対策事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	高橋健仁
		評価者 作成者 職氏名	国保病院庶務係長	吉田達也

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	常勤医師数	
【抱える課題やニーズは】	常勤医師の確保による安定した医療体制の確立	指標(指標計算式／解説)	目 標 値 及 び 実 績 値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	常勤医師を確保し、安定した診療体制とともに安心感のある医療の提供をめざす	① 常勤医師3名	目 標 年 度	平成25 年度
			目 標 値	3 人
			実 績 値	2 人
【その結果、どのような成果を 実現したいか】 ※成果＝目的	町民への安定的な医療提供が可能となり、町民の健康・安全等の確保が図られる	②	達 成 度	66.7 %
			目 標 年 度	平成25 年度
			目 標 値	
			実 績 値	
			達 成 度	#DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	常勤医師確保	医師求人情報掲載(有料ホームページ等)、医師紹介業者からの仲介派遣等		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	☐	義務的なもの	安定した医療体制を維持していくためには必要な事業であり、地域医療体制の確保は町としての責務である
必要／概ね必要	☐	全部	
／課題あり	☐	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況	内科医については常勤医師の確保が困難であったが、非常勤常勤形態により町民の受診機会の確保が図られたため、概ね有効な事業である
	☐ 達成	
有効／概ね有効	☐ ほぼ達成	
／課題あり	☒ 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由	効果的な方法を常に検討しながら対応しているが、医師不足の現状からは直ちに確保が図られるという状況ではない困難性が生じているが、概ね効率的な事業執行となっている
	☐ 事業費抑制	
	☐ 人員削減	
効率的／概ね効率的	☐ 時間短縮・作業軽減	
／課題あり	☒ その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町民全員に受益が及ぶものであり、公平性について支障ないものである
	☐ 受益者負担がある	
	☐ 受益者負担がない	
公平／概ね公平	☐ 受益が一部に偏る	
／公平でない	☒ その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B 常勤体制の確立には及ばなかったが、内科医の非常勤常勤体制による安定的な診療体制が図られたことから、上記評価とした		

今後の展開方向 (Action)		
継続／現状維持		
内科常勤医師確保のため、引き続き本事業により対策を講じていく必要がある		
※展開方向の区分 ☐ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ☐ 終了 ☐ 休止 ☐ 廃止		

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 14010020

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会 計 区 分	3	国保病院事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ・平成30年度～医事・会計・健診・薬品在庫システムのリースアップによる更新
基本施策	6	保健・医療の充実	事 業 優 先 度		B	
単位施策	5	地域医療体制維持の推進	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	病院情報ネットワーク整備事業		見 直 し 年 度	14	国保病院・老健施設	
事業期間	平成25年度～平成29年度		担 当 課		#N/A	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	電算システム更新数		ハート／ソフト 事業区分	1	ハード事業	
事業目標	3件(及びリース)		関係例規・法令名	有	医療法・薬事法	
住民参加	無		関係個別計画名	無		
住民協働						

全 体 計 画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容
計 画 内 容	●医事・会計・健診・薬品在庫システムの更新(リース) ●レセプト電算システムの更新(購入) ●オーダリングシステムの更新(購入)	●医事・会計・健診・薬品在庫システムの更新(リースアップによる更新) ●レセプト電算システムの更新(購入) ●オーダリングシステムリース	●医事・会計・健診・薬品在庫システムリース ●オーダリングシステムの更新(リースアップによる購入)	●医事・会計・健診・薬品在庫システムリース	●医事・会計・健診・薬品在庫システムリース	●医事・会計・健診・薬品在庫システムリース
	事業費(千円)	99,007	20,690	63,296	5,007	5,007
	財源内訳					
	国庫支出金	45,000	5,000	40,000		
	道支出金	0				
実績事業費	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	54,007	15,690	23,296	5,007	5,007
	事業費(千円)	13,223	13,223	0	0	0
	財源内訳					
関連事項	特定財源の名称					
	国保調整交付金	【評 価 ・ 実 績】	(実施内容等) ●医事・会計・健診・薬品在庫システム再リース ●レセプト電算システム再リース ●オーダリングシステムリース ※前年度評価結果 A-継続／現状維持	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果
	前期計画からの継続(継続有り)	年度目標値	2件(及びリース)	1件(及びリース)	(リース)	(リース)
	第6期計画への継続(継続有り)	年度達成率	64%	0%	0%	0%
		全体達成率	13%	13%	13%	13%
		事業進捗状況	☆☆			

事業名	病院情報ネットワーク整備事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	高橋健仁
		評価者 作成者 職氏名	国保病院庶務係長	吉田達也

平成25年度実施
平成26年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	医事関係システム更新数	
【抱える課題やニーズは】	迅速な医療サービス提供体制の構築	指標(指標計算式／解説)	目 標 値 及 び 実 績 値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	システムの整備により安定した医療の提供と迅速なサービスの提供をめざす	① 医事等システムの更新	目 標 年 度	平成25年度
			目 標 値	1 件
			実 績 値	0 件
			達 成 度	0.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	安定した医療情報の処理と円滑な会計処理及び多様化する健診業務の対応が可能となる	② オーダーリングシステムのリース	目 標 年 度	平成25年度
			目 標 値	1
			実 績 値	1
			達 成 度	100.0 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	医事・会計・薬品在庫システム、健診システム、レセプト電算システムの再リース及びオーダーリングシステムのリース継続			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	☐	義務的なもの	医事関係システム構築にあたり、システム構成等の精査を必要としたところであるが、医療ネットワークシステム自体の設置継続は、安定で迅速な医療体制維持のために必要である
必要／概ね必要	☐	全部	
／課題あり	☐	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

課題あり	設定した目標値の達成状況	今年度事業はシステム更新を予定していたところであるが、システム構成等に精査が必要となったことから、予定事業を下回ることとなった
有効／概ね有効	☐ 達成	
／課題あり	☐ ほぼ達成	
	☒ 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由	システム構成等に精査が必要となり、現行システムを再リースによる最低コストで使用継続することとなったことにより、効率性については特に支障は生じないものである
	☐ 事業費抑制	
	☐ 人員削減	
効率的／概ね効率的	☐ 時間短縮・作業軽減	
／課題あり	☒ その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	システム運用に係る公平性は、医療システムの安定的稼働が間接的に町民全体に効果が及ぶものであることから、公平性については保たれている
	☐ 受益者負担がある	
	☐ 受益者負担がない	
公平／概ね公平	☐ 受益が一部に偏る	
／公平でない	☒ その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
C 病院の規模が一部老健移行により変更されたこと等により、システム構成を精査する必要が生じたため、当初計画との差異が生じるに至ったところである		

今後の展開方向 (Action)		
---------------------	--	--

継続／内容の見直し・変更		
現行システムのライセンス期限が到来することから、事業内容を見直し、事業を継続していく必要がある		

※展開方向の区分
○継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 14010030

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会 計 区 分	3	国保病院事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事 業 優 先 度		B	
単位施策	5	地域医療体制維持の推進	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	医療機器整備事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担 当 年 課	14	国保病院・老健施設	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	更新機器数		ハート／ソフト 事業区分	1	ハード事業	
事業目標	17機器以上		関係例規・法令名	無		
住民参加	無		関係個別計画名	無		
住民協働	無					

全 体 計 画			平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事 業 内 容			事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	
計 画 内 容	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入		●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入 透析装置5台、水処理装置 除細動器 他	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入 CT撮影装置、心電図計 分包機、超音波診断装置 他	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入 一般撮影用医用画像システム 回診用X線診断装置 自動分析装置 透析装置1台 他	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入 超音波診断装置、リフト浴槽 他	●医療機器の整備及び更新 ・医療機器の購入 X線TV装置 他	
	事業費（千円）		205,480	40,650	53,744	33,943	41,143	36,000
	財源内訳	国庫支出金	14,700	2,625	2,625	2,625	2,625	4,200
		道支出金	0					
		地方債	189,000	38,000	51,000	31,000	38,000	31,000
その他		0						
一般財源		1,780	25	119	318	518	800	
実績事業費	事業費（千円）		27,416	27,416	0	0	0	0
	財源内訳	国庫支出金	2,625	2,625				
		道支出金	1,312	1,312				
		地方債	23,400	23,400				
		その他	0					
一般財源		79	79					
関連事項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	国保調整交付金 病院事業債 過疎債	【評価・実績】	●人工透析装置購入 透析装置5台、水処理システム全自動溶解装置等一式 ●輸液ポンプ 2台 ※前年度評価結果 A－継続／現状維持	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	8機器以上	4機器以上	4機器以上	2機器以上	1機器以上	
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	67%	0%	0%	0%	0%	
		全体達成率	13%	13%	13%	13%	13%	

事業名	医療機器整備事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	高橋健仁
		評価者 作成者 職氏名	国保病院庶務係長	吉田達也

■事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民		望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	安定した医療提供機器の整備	
【抱える課題やニーズは】	医療機器の老朽化等に伴う更新整備		指標(指標計算式／解説)	目 標 値 及 び 実 績 値	
			① 診療機器の整備	目 標 年 度	平成25 年度
目 標 値	8 機器				
実 績 値	6 機器				
達 成 度	75.0 %				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	患者ニーズに即した医療機器等の整備により、安定した医療の提供をめざす		②	目 標 年 度	平成25 年度
				目 標 値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	安定した医療体制が確保され、町民の健康増進が図られる			実 績 値	
				達 成 度	#DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	医療機器の購入	入札等による購入			

■事務事業の評価 (Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	☐	義務的なもの	安全でかつ安定した診療体制を維持していくためには、医療機器の計画的な更新は必要な事業である
必要／概ね必要	☐	全部	
／課題あり	☐	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	生命維持に係る機器等の整備により、患者に対する重要な医療提供体制が図られた
	☐ 達成	
有効／概ね有効	☒ ほぼ達成	
／課題あり	☐ 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	購入費等の精査及び入札執行により、事業費の抑制が図られた
	☒ 事業費抑制	
	☐ 人員削減	
効率的／概ね効率的	☐ 時間短縮・作業軽減	
／課題あり	☐ その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町民全般に受益が及ぶものであり、公平性に支障はないものである
	☐ 受益者負担がある	
	☐ 受益者負担がない	
公平／概ね公平	☐ 受益が一部に偏る	
／公平でない	☒ その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
医療機器購入により、安全かつ安定した医療サービスの提供を図ることができた		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持		
町民が安心する医療サービス提供及び機器の経年劣化等に対応していくため、今後も年次計画等により適切な整備が必要である		
※展開方向の区分 ☐ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ☐ 終了 ☐ 休止 ☐ 廃止		

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 14010040

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会 計 区 分	3	国保病院事業会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事 業 優 先 度		A	
単位施策	5	地域医療体制維持の推進	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名		医療従事者確保対策事業	見 直 し 年 度			
事業期間		平成25年度～平成29年度	担 当 課	14	国保病院・老健施設	
事業主体		雄武町	関 係 課		#N/A	
事業指標		安定した医療を提供する病院施設			#N/A	
事業目標		1施設	ハート／ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加			関係例規・法令名	無		
住民協働	有	国保病院運営委員会	関係個別計画名	無		

	全 体 計 画 事 業 内 容	平成 25 年度 事 業 内 容	平成 26 年度 事 業 内 容	平成 27 年度 事 業 内 容	平成 28 年度 事 業 内 容	平成 29 年度 事 業 内 容
計 画 内 容	●医療従事者確保対策 ・求人依頼、面談 ・広告掲載	・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載	・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載	・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載	・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載	・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載
計画事業費	事業費(千円)	2,560	500	515	515	515
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	2,560	500	515	515	515
実績事業費	事業費(千円)	0	0	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0	0			
	道支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	0	0			
関連事項	特定財源の名称	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評 価 ・ 実 績】	※対象事業について実績なし				
		※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	1施設	1施設	1施設	1施設
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	0%	0%	0%	0%
		全体達成率	0%	0%	0%	0%
		事業進捗状況	☆☆☆☆			

事業名	医療従事者確保対策事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	高橋健仁
		評価者 作成者 職氏名	国保病院庶務係長	吉田達也

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	看護師等の医療技術職員の確保が極めて困難な状況になっており、適時適切な職員採用が求められる	指標(指標計算式／解説)	目 標 値 及 び 実 績 値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	病院として求められる機能維持のために必要とされる医療技術職員の適切な確保	①	目 標 年 度 平成25 年度 目 標 値 ○○ 実 績 値 ○○ 達 成 度 #DIV/0! %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	町民に対して、安心感のある良質な医療サービスの提供	②	目 標 年 度 平成25 年度 目 標 値 実 績 値 達 成 度 #DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	関係機関等への要請	平成25年度の予算支出実績なし	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	☐	義務的なもの	医師以外の医療技術職員の必要数確保は、病院機能の維持において不可欠であるため、必要となる事業である
必要／概ね必要	☐	全部	
課題あり	☐	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	今年度は予算支出を伴わずに維持できたところであるが、不定期に欠員等が生じる可能性は常に生じることから、その対応のため本事業の有効性は高いものである
有効／概ね有効	☐ 達成	
課題あり	☐ ほぼ達成	
	☒ 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	予算支出を伴わなかったため、効率性については特に支障がないものである
	☐ 事業費抑制	
	☐ 人員削減	
効率的／概ね効率的	☐ 時間短縮・作業軽減	
課題あり	☒ その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	医療技術職員の確保を図ることにより、町民全体に適切な医療サービスの提供につながるものであることから、公平性には特に支障がないものである
	☐ 受益者負担がある	
	☐ 受益者負担がない	
公平／概ね公平	☐ 受益が一部に偏る	
公平でない	☒ その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
事業執行において予算支出を伴うことなく、必要な人材を確保維持することができた		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持		
医療技術職員の確保は、病院機能維持のために不可欠な要件であるため、引き続き適切な配置体制の確立が必要である		

※展開方向の区分
○継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 14010050

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会 計 区 分	3	国保病院事業会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事 業 優 先 度		B	
単位施策	5	地域医療体制維持の推進	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	病院車両更新事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成25年度～平成26年度		担 当 課	14	国保病院・老健施設	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	病院車両の更新				#N/A	
事業目標	2台		ハート／ソフト 事業区分	1	ハード事業	
住民参加	無		関係例規・法令名	無		
住民協働			関係個別計画名	無		

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 25 年度 事 業 内 容	平成 26 年度 事 業 内 容	平成 27 年度 事 業 内 容	平成 28 年度 事 業 内 容	平成 29 年度 事 業 内 容
計 画 内 容	●病院公用車両の更新 2台 医師送迎車両及び在宅指導用車両 各1台	●医師送迎車両の更新	●在宅指導用車両の更新			
計 画 事 業 費	事業費(千円)	5,943	4,400	1,543	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
実 績 事 業 費	事業費(千円)	3,885	3,885	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
関 連 事 項	特定財源の名称	【評 価 ・ 実 績】	(実施内容等) ●医師送迎車両更新 1台	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
			※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	1台	1台		
		年度達成率	88%	0%	#DIV/0!	#DIV/0!
	第6期計画への継続 (継続無し)	全体達成率	65%	65%	65%	65%
		事業進捗状況	☆☆☆☆			

事業名	病院車両更新事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	高橋健仁
		評価者 作成者 職氏名	国保病院庶務係長	吉田達也

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民及び非常勤代務医師		望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	医師送迎用車両更新		
【抱える課題やニーズは】	常勤医師数の充足が図られない状況において、町外から来院する非常勤代務医師の送迎が必要であるとともに、町民に対する診療体制の確立を図る必要がある			指標(指標計算式／解説)	目 標 値 及 び 実 績 値	
	【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	非常勤代務医師の交通機関による移動の負担感の緩和とともに、定期による診療体制を確立する			① 医師送迎車両	目 標 年 度
目 標 値						1 台
実 績 値	1 台					
達 成 度	100.0 %					
【その結果、どのような成果を 実現したいか】 ※成果＝目的	町民に対する安定的な医療サービス提供の機会を確保する	②	目 標 年 度	平成25 年度		
			目 標 値			
			実 績 値			
			達 成 度	#DIV/0! %		
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	代務医師送迎用車両の更新	入札による事業執行				

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	☐	義務的なもの	町民に対する安定的な診療体制確保のため、町外からの非常勤代務医師の送迎に必要とする車両の更新は必要な事業である
必要／概ね必要	☐	全部	
／課題あり	☐	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	送迎用車両の更新により、交通機関による医師の移動負担が緩和されることにより、診療に専念できる環境になったことから、期待した効果が得られ有効な事業である
有効／概ね有効	☒ 達成	
／課題あり	☐ ほぼ達成	
	☐ 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	事業費等を精査のうえ入札による事業執行を行ったことから、事業費縮減を図られ、効率的に実施することができた
	☒ 事業費抑制	
	☐ 人員削減	
効率的／概ね効率的	☐ 時間短縮・作業軽減	
／課題あり	☐ その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	非常勤代務医師の送迎により、病院を受診する町民に適切な医療サービス機会の提供が図られたことから、公平性については確保されているものである
	☐ 受益者負担がある	
	☐ 受益者負担がない	
公平／概ね公平	☐ 受益が一部に偏る	
／公平でない	☒ その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A 非常勤代務医師に係る送迎車両の更新により、医師の移動負担の緩和とともに、町民に対する必要な医療サービス機会の提供が図られた		

今後の展開方向 (Action)		
継続／現状維持		
病院保有車両については、経年劣化により運行に支障をきたすおそれがあるため、計画にそった事業を進めていく必要がある		
※展開方向の区分 ☐ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ☐ 終了 ☐ 休止 ☐ 廃止		

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 14010060

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会 計 区 分	3	国保病院事業会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事 業 優 先 度		B	
単位施策	5	地域医療体制維持の推進	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	病院環境整備事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成25年度～平成26年度		担 当 課	14	国保病院・老健施設	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	環境を整備すべき病院施設数				#N/A	
事業目標	1施設		ハート／ソフト 事業区分	1	ハード事業	
住民参加	無		関係例規・法令名	無		
住民協働			関係個別計画名	無		

全 体 計 画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容
計 画 内 容	● 病棟及び病院環境の整備 ・2階病棟冷房設備整備 ・医局他冷房設備整備(4箇所) ・医局等設置テレビの更新(3台) ● 外構整備 ● 屋外環境整備用芝刈機の購入	● 2階病棟冷房設備整備 ● 医局他冷房設備整備(4箇所)	● 医局等設置テレビの更新(3台) ● 患者用ベッドの更新(10台) ※外構整備調査			
計 画 事 業 費	事業費(千円)	18,562	12,760	5,802	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
実 績 事 業 費	事業費(千円)	11,256	11,256	0	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
関 連 事 項	特定財源の名称	【評 価 ・ 実 績】	(実施内容等) ● 2階病棟冷房設備整備 ● 医局他冷房設備整備 ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	1施設	1施設		
		年度達成率	88%	0%	#DIV/0!	#DIV/0!
	第6期計画への継続 (継続無し)	全体達成率	61%	61%	61%	61%
		事業進捗状況	☆☆☆☆			

事業名	病院環境整備事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	高橋健仁
		評価者 作成者 職氏名	国保病院庶務係長	吉田達也

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民(入院患者)及び医師		望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	病院内冷房設備	
【抱える課題やニーズは】	現病院開設後、夏季期間において2階病棟室温が高温になることにより、入院患者等の治療に影響を与えるおそれが生じているとともに、医局等の環境についても改善を図る必要がある				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	冷房施設の整備により、病棟入院患者の治療環境の改善及び医師の勤務環境の改善を図ることができる		指標(指標計算式／解説)	目 標 値 及 び 実 績 値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	病棟入院患者環境の改善により疾病の早期治癒とともに、勤務医師が快適な環境の中で安定的な医療サービスの提供を図ることができる			① 冷房整備箇所数	目 標 年 度
			目 標 値		5 箇所
			実 績 値		5 箇所
			達 成 度		100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	病棟入院患者環境の改善により疾病の早期治癒とともに、勤務医師が快適な環境の中で安定的な医療サービスの提供を図ることができる		②	目 標 年 度	平成25 年度
				目 標 値	
				実 績 値	
				達 成 度	#DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	病院2階病棟及び医局他冷房設備整備	入札による事業執行			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	☐	義務的なもの	病院2階病棟の夏季期間の室温が高温になることにより、患者の生命を脅かす危険性も懸念されてきたことから必要な事業である
必要／概ね必要	☐	全部	
／課題あり	☐	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	冷房施設整備により、院内環境が大きく改善され、快適な環境の中で入院患者に対する治療を行うことにつながり、また医師の快適な勤務環境改善を図るために有効な事業である
	☒ 達成	
	☐ ほぼ達成	
	☐ 下回る	
有効／概ね有効	☐	
／課題あり	☐	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	事業執行にあたっては、事業内容を精査のうえ入札執行により、事業費の抑制等、効率的な対応を図った
	☒ 事業費抑制	
	☐ 人員削減	
	☐ 時間短縮・作業軽減	
効率的／概ね効率的	☐	
／課題あり	☐ その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	本事業の実施により、町民である入院患者等の他、診療を受ける町民に受益が及ぶため、公平性については保持されている
	☐ 受益者負担がある	
	☐ 受益者負担がない	
	☐ 受益が一部に偏る	
公平／概ね公平	☐	
／公平でない	☒ その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
本事業の実施により、患者に対する院内環境が大きく改善され、期待どおりの事業達成をすることができた		

今後の展開方向 (Action)		
継続／現状維持		
院内環境の改善については、外来部門等の未整備箇所もあるが今後の状況把握によることとし、精査をしながら計画のとおり実施していくものとする		
※展開方向の区分 ○継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止		

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 14010070

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会 計 区 分	3	国保病院事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事 業 優 先 度		A	
単位施策	5	地域医療体制維持の推進	政 策 事 務 分 類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	非常用通路改修事業		見 直 し 年 度			
事業期間	平成25年度		担 当 課	14	国保病院・老健施設	
事業主体	雄武町		関 係 課		#N/A	
事業指標	非常用通路の整備		ハート／ソフト 事業区分	1	ハード事業	
事業目標	1箇所(L=65m)		関係例規・法令名	無		
住民参加	無		関係個別計画名	無		
住民協働						

	全 体 計 画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容
計 画 内 容	●非常用通路の改修 65m		●非常用通路改修 65m				
計 画 事 業 費	事 業 費 (千円)	6,000	6,000	0	0	0	0
	財 源 内 訳						
	国庫支出金	0					
	道 支 出 金	0					
	地 方 債	0					
	そ の 他	0					
実 績 事 業 費	事 業 費 (千円)	5,775	5,775	0	0	0	0
	財 源 内 訳						
	国庫支出金	0					
	道 支 出 金	0					
	地 方 債	5,700	5,700				
	そ の 他	0					
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	病院事業債 過疎債	【評 価 ・ 実 績】	●非常用通路改修 L=49.6m (アスファルトコンクリート舗装)				
			※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	1箇所(L=65m)				
		年度達成率	96%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	第6期計画への継続 (継続無し)	全体達成率	96%	96%	96%	96%	96%
		事業進捗状況	☆☆☆☆				

事業名	非常用通路改修事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	高橋健仁
		評価者 作成者 職氏名	国保病院庶務係長	吉田達也

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	非常用通路の整備	
【抱える課題やニーズは】	現病院開設後、経年により非常用通路の状況が著しく劣化し、非常時の避難対応等に重大な支障が生じるおそれがある	指標(指標計算式／解説)	目 標 値 及 び 実 績 値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	非常用通路が常に機能するよう改修整備を行う	① 改修延長	目 標 年 度	平成25 年度
			目 標 値	65.0 m
			実 績 値	49.6 m
			達 成 度	76.3 %
【その結果、どのような成果を 実現したいか】 ※成果＝目的	非常時に迅速円滑な避難対応が図られ、施設の危機管理の向上を図ることができる	②	目 標 年 度	平成25 年度
			目 標 値	
			実 績 値	
			達 成 度	#DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	病院非常通路改修整備	入札執行による		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	☐	義務的なもの	非常時の患者等の円滑迅速な避難を図るとともに、危機管理向上のため、必要な事業である
必要／概ね必要	☐	全部	
／課題あり	☐	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	非常用通路の整備において、全延長についてアスファルト舗装とすることにより、患者の態様に合わせ従前から大きく改善が図られたため、有効性について支障が生じないものである
	☒ 達成	
有効／概ね有効	☐ ほぼ達成	
／課題あり	☐ 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	事業内容の事前精査を行い、入札執行により実施したことから、事業費の抑制につながり、効率的に行うことができた
	☒ 事業費抑制	
	☐ 人員削減	
効率的／概ね効率的／課題あり	☐ 時間短縮・作業軽減	
	☐ その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	この事業による受益の対象は町民(患者)であることから、公平性については保持されている
	☐ 受益者負担がある	
	☐ 受益者負担がない	
公平／概ね公平／公平でない	☐ 受益が一部に偏る	
	☒ その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
本事業実施により、非常時における患者避難等の危機管理について大きく向上が図られた		

今後の展開方向
(Action)

終了		
平成25年度の単年度事業であるため事業終了		

※展開方向の区分

○継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止